

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（平成26年12月5日現在）

1 号 機 沸騰水型（35万7千kW）	第33回定期検査中 平成23年1月26日～未定*
2 号 機 加圧水型（116万kW）	第18回定期検査中 平成23年8月29日～未定*

（ ）内は定格電気出力

*：福島第一原子力発電所事故に対する安全対策の実施状況や新規規制基準の対応状況を踏まえ、地元のご理解を得ながら計画します。

2. 故障等の状況について（平成26年11月5日～平成26年12月5日）

（1）法律に基づく報告事象

なし

（2）安全協定に基づく異常時報告事象

①敦賀発電所2号機 洗たく廃液モニタタンクの漏れ跡について

第18回定期検査中の敦賀発電所2号機において、平成26年12月1日、A洗たく廃液モニタタンクの外観点検を実施していたところ、底部の外表面1箇所（溶接部）に漏れ跡、床面に滴下跡を確認しました。このため、Bタンクについても外表面の状況を確認した結果、底部の4箇所と胴部1箇所（いずれも溶接部）に漏れ跡を確認しました。

両タンクの外表面の漏れ跡及びAタンク下部床面の滴下跡は、いずれも乾いた状態であり、これらの放射能を測定した結果、いずれも検出限界未満でした。

この事象による周辺環境への放射能の影響はありません。

今後、漏れ跡が生じた原因などについて、詳細な調査を行う予定です。

（別紙1参照）

（3）保全品質情報等

なし

3. 敦賀発電所3, 4号機 準備工事について（平成26年12月5日現在）

（1）建設準備工事

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地の維持管理を継続して行っています。

（2）仮設工事関係

現在、コンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。

4. 東北地方太平洋沖地震関係

（1）敦賀発電所敷地内破砕帯の調査状況等について

①追加調査評価会合の今後の進め方に係る原子力規制庁への申し入れについて

当社は、平成26年11月13日、原子力規制庁と面談し、敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する追加調査評価会合の今後の進め方について等申し入れを行いました。

当社としては、次回以降の会合において、調査を実際に行い、データ等を提供している当社自身が審議に参加し、有識者の指摘に対する回答や最新のデータ等をもとに、相互に具体的な理由と根拠を示しながら十分に議論を行うことが、科学的判断を行う上で不可欠であると考えております。

また、面談においては、前回までの評価会合においてデータ等の確認や検証が十分でない点や事実認識に誤りがある等の問題点など議論が十分なされていないことから、評価書案の取りまとめは時期尚早である旨を指摘させていただきました。

なお、当社は9月4日の前回会合までに提示した回答及びデータ等により、敷地内破砕帯が「将来活動する可能性のある断層等」ではないことは科学的に十分に立証されていると確信しております。

原子力規制委員会に対しましては、拙速に走ることなく、次回以降の会合での審議に、調査を実施した当社も参加させ、調査データや観察事実などの具体的根拠に基づいた科学的議論を尽くさせていただくよう、強くお願いしたいと考えております。

（平成26年11月14日発表済み）

②第5回追加調査評価会合に関する当社コメントの発表について

平成26年11月19日に開催された「敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する有識者会合 第5回追加調査評価会合」を踏まえて、以下の当社コメントを発表しました。

【当社コメント】

本日の会合において、敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する評価書案が出され、有識者のみによる議論が行われました。当社は評価書案を本日初めて拝見し、また有識者による審議の様態も視聴させて頂きましたが、当社がこれまで再三に亘り申し入れてきた事柄についてはほとんど考慮されていませんでした。

具体的には、本日の評価書案及び審議経過を見る限り、原子力規制委員会の規制基準等に照らし、活断層の判断に直接係わる①地層の堆積年代、②K断層の活動性、③K断層の連続性の評価について、可能性や推論等が示されているのみで、当社のデータ等に基づく評価を覆すに足る、具体的根拠や裏付けとなるデータ等は示されておりません。また、評価書案や審議において指摘された事項については、当社としては、いずれもデータ等により十分に反論、反証できるものと考えております。（詳細は後日公表させて頂きます。）これでは、規制基準等に則った科学的判断とは到底言えないと考えます。

そもそも前回9月4日の会合においても、当社が提出した有識者の指摘に対する回答資料や最新データ等も採用されずに不十分な議論しか行われないうちに、さらにその後の申し入れにより、当社から問題点等を具体的に指摘していたにも拘らず、本日の有識者のみでの会合が行われたことについては、全く理解しかねるところであります。

当社としては、本件はこれまでも繰り返し申し上げてきたとおり、必要な議論の機会を与えて頂くよう、機会ある毎にお願いしてきましたが、本日に至るもそれが実現されていないことは、事業者として公正な扱いを受けているとは到底言えないと考えています。

このため、当社としては引き続き、原子力規制委員会に対して、適正手続に則り、評価会合において当社に十分な議論の機会を与えて頂き、科学的な根拠とデータ等に基づき改めて評価書案についての議論を行うよう強く求めていきたいと考えています。

（平成26年11月19日発表済み）

③第5回追加調査評価会合における主な問題点について

平成26年11月19日に開催された第5回追加調査評価会合における評価書案及び議論について、技術的観点から問題点を整理し、11月21日にお知らせしました。

特に、評価書案には、活断層判断の評価に当たって極めて重要な観察事実やデータ等について記載がなされていない点が多く見られたことは、公正、中立な科学的議論の観点から問題があると考えています。

当社としては、評価書案や審議において指摘された事項については、いずれもデータ等により十分反論、反証できるものと考えており、引き続き、原子力規制委員会に対して、評価会合において当社に十分な議論の機会を与えて頂き、科学的な根拠とデータ等に基づき改めて評価書案についての議論を行うよう強く求めています。

(平成26年11月21日発表済み)

5. その他

(1) げんでんふれあいギャラリー催物のご案内について

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。＞

①第2回 楽彩展 楽しく思うがままに描こう！！

当ギャラリーでは2回目となる、楽彩展。前は、高村 恒子 様と杉田^{もり} 司子 様のお二人でしたが、今回は、福谷 隆子 様も参加され、3人での開催になります。油彩、水彩、アクリル画等を43点展示しています。(12月2日～12月7日※)

※：6日(土)は、停電のため13時に開館致します。

②中村 陽一 写真展 北の大地

当ギャラリーでは6回目となる、中村 陽一 様の個展です。夏のご旅行で撮影された写真を、越前和紙にプリントすることで、より深みのある仕上がりになります。30点を展示予定です。(12月9日～12月21日)

③「2014 福井県小・中学生科学アカデミー賞」優秀作品 敦賀展

「2014 福井県小・中学生科学アカデミー賞」の優秀作品の展示や、表彰式での研究発表の様子(動画)を、パソコンで紹介します。20点の優秀作品を展示予定です。(12月23日～1月11日)

(2) 次世代層等への教育支援活動関連イベント

＜次世代層等への環境・エネルギー等に関する教育支援活動として、以下の事業を実施します。＞

“げん丸塾”「エネルギー体験学習電気の故郷見学会」

対 象：げん丸塾生

会 場：敦賀原子力館(敦賀市)、エンゼルランド福井(坂井市)

三国太陽光発電所(坂井市)、あわら北潟風力発電所(あわら市)

日 程：平成26年12月24日(水)

敦賀発電所 2 号機 洗たく廃液モニタタンクの漏れ跡について

敦賀発電所 2 号機は、第 18 回定期検査中の平成 26 年 12 月 1 日 14 時 10 分頃、原子炉補助建屋地下 1 階（管理区域）において、洗たく廃液モニタタンク※（A、B）のうち A タンクの定期点検として、タンク外観の点検を実施していたところ、底部の外表面 1 箇所（溶接部）に漏れ跡を確認するとともに、床面に滴下跡を確認しました。

このため、B タンクについてもタンク外表面の状況を確認した結果、底部の 4 箇所と胴部 1 箇所（いずれも溶接部）に漏れ跡を確認しました。なお、床面に滴下跡は確認されませんでした。

両タンク外表面の漏れ跡及び A タンク下部床面の滴下跡は、いずれも乾いた状態であり、漏れ跡の表面を拭き取り、付着した放射能を測定した結果、いずれも検出限界未満でした。

この事象による周辺環境への放射能の影響はありません。

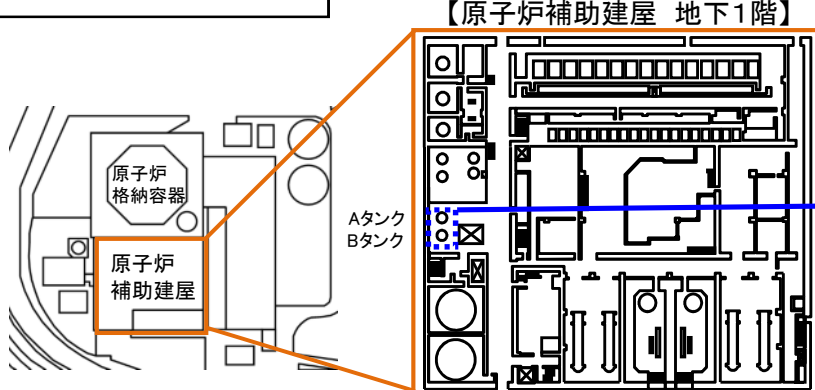
今後、漏れ跡が生じた原因などについて、詳細な調査を行う予定です。

※ 1, 2 号機の管理区域で使用した作業員の衣服の洗濯等に伴い発生した水をフィルターで処理した後、放出する前に放射能濃度を測定するため一時的に貯めておくタンク。

添付資料：敦賀発電所 2 号機 洗たく廃液モニタタンクの漏れ跡

敦賀発電所2号機 洗たく廃液モニタタンクの漏れ跡

発生場所・系統概要図



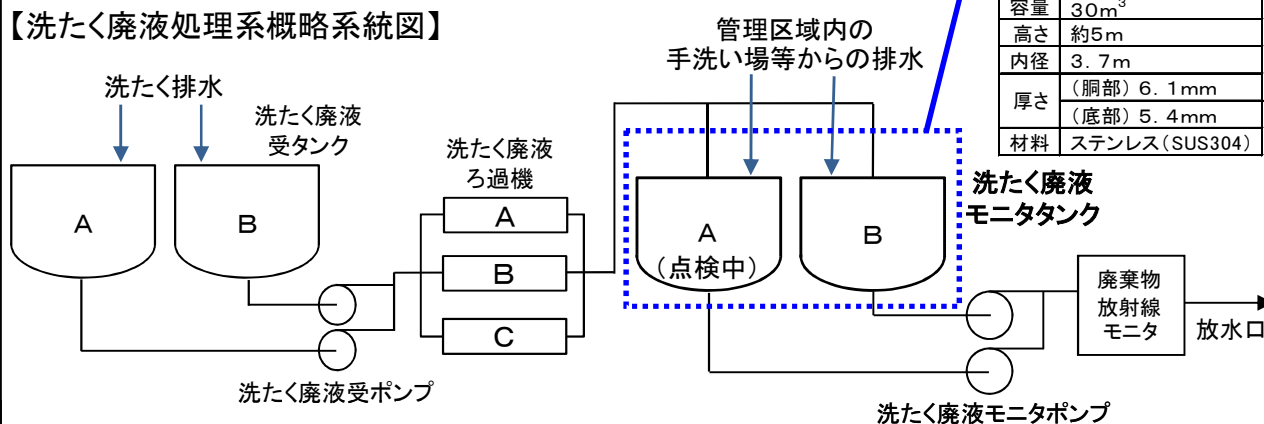
【洗たく廃液モニタタンク 外観】



タンクの仕様

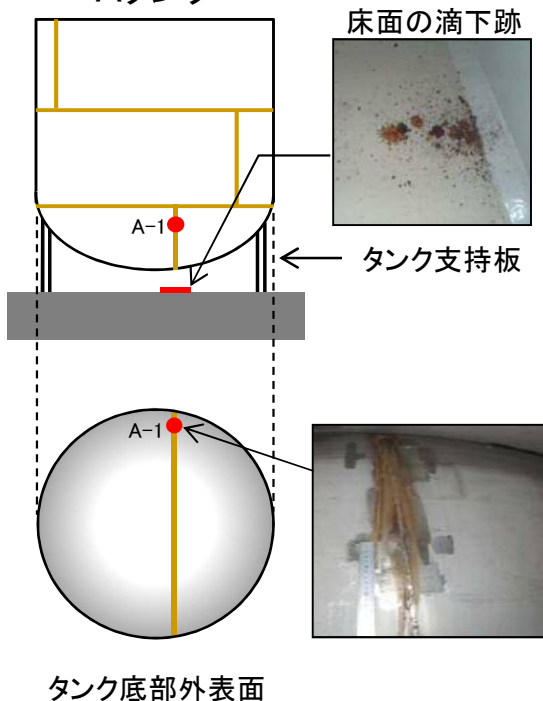
種類	たて置き円筒型
容量	30m ³
高さ	約5m
内径	3.7m
厚さ	(胴部) 6.1mm
	(底部) 5.4mm
材料	ステンレス(SUS304)

【洗たく廃液処理系概略系統図】

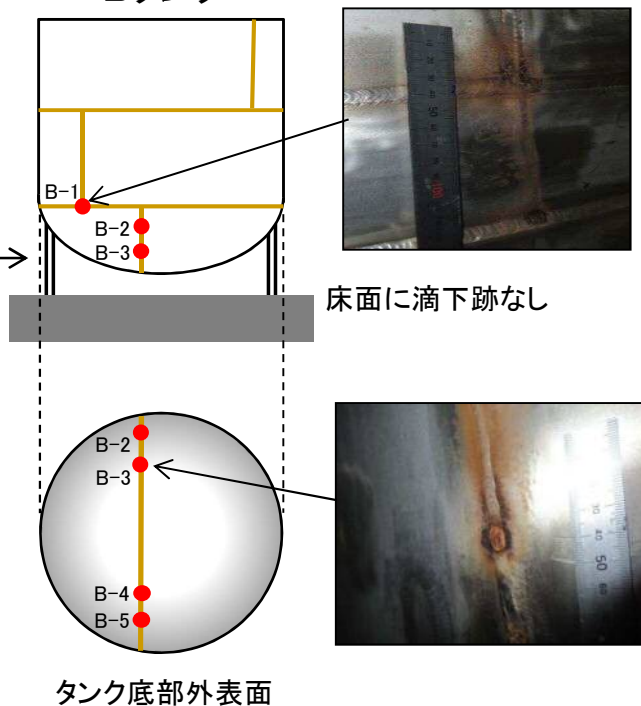


タンクの点検状況

Aタンク



Bタンク



— : タンク製造時の溶接線
● : 漏れ跡